

下僕よ  
ミルクの  
時間だぞ。







■下僕よミルクの時間だぞ。



下僕よ  
ミルクの  
時間だぞ。





皆様こんにちは成沢です～(=°ω°)ノ

今回はちょうど1年ぶり、ネメシスさんの本をお届けしますー。

原作ではたぶん、誰を選ぶでもなく  
ハーレムルートのまま行きそうな感じですので、  
この本には「ネメシスルートを進んだらこうなってほしいなあ」  
といった妄想を詰め込みました(\*´I`\*)

一応、1年前の本の後日談的な流れにはなっていますが  
例によってこれ単品でも行けるかと思えます。

ちなみに前作で何があったかというと、  
こんな感じで↓



リトさんがネメシスに得意技の  
「土壇場の誠実さで天然タラシ」を発動させた、ってことだけ  
覚えておけばいいと思うよ!Σd(°▽°d)

ではでは、いつもより薄い本ですが  
楽しんでいただけたら嬉しいです～(^▽^)

成沢 空



んっ…♡

んっ…♡

あれから…ネメシスはオシの部屋にフリスビーをやって来るようになった

そしてまるで…猫がミルクをねだるよりも気軽にオシを押し倒し気ままに帰っていく

んっ…♡

今日はいつもよりチンポが大きいな…？  
げほく…♡

うあ…っ  
口に入れたまましゃべらないで…っ！  
声が…響く…っ

良い心がけだ  
お前もようやく下僕としての立場がわかってきたか？

うう…あぁッ  
ネメシス…っ

お 俺は別に…  
下僕になった訳じゃ…

うあぁッ！！

まだ早いぞ 我慢しろ  
イクのは主である  
私の許可が出てからだ  
それまでは許さん

フフッ…いいぞ  
おあずけをくらった  
その表情…

怯える  
小動物のようだ  
抱きしめたく  
なるほどに  
愛おしいな…♡

そんなネメシスに  
振り回されながらも  
オシは どんどん彼女が  
愛おしくなっていく…  
ある日 想いを告げた

ネメシスは一瞬だけ  
驚いた顔をして  
それからまたいつもの  
ネメシスに戻った

フクロもフリッフリ…♡  
どうやら私の言い付け通り  
しっかりと濡め込んで  
いるようだな



結局 ネメシスの本心は  
わからないままで…  
オシのこじ  
どう思っているんだらう…

ほう…♡次は  
お前の番だよ

主に甲斐甲斐しく  
奉仕してみせよう♡



そう…いいよ♡  
皮も剥いて…♡  
ん…♡あぁ♡

ん…♡  
あぁ…♡

んん…♡  
クリを吸う…  
ときは…

少し弱めが…  
私は好きだよ…♡



ふぁ…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡

い…いよ♡  
結城リト…♡

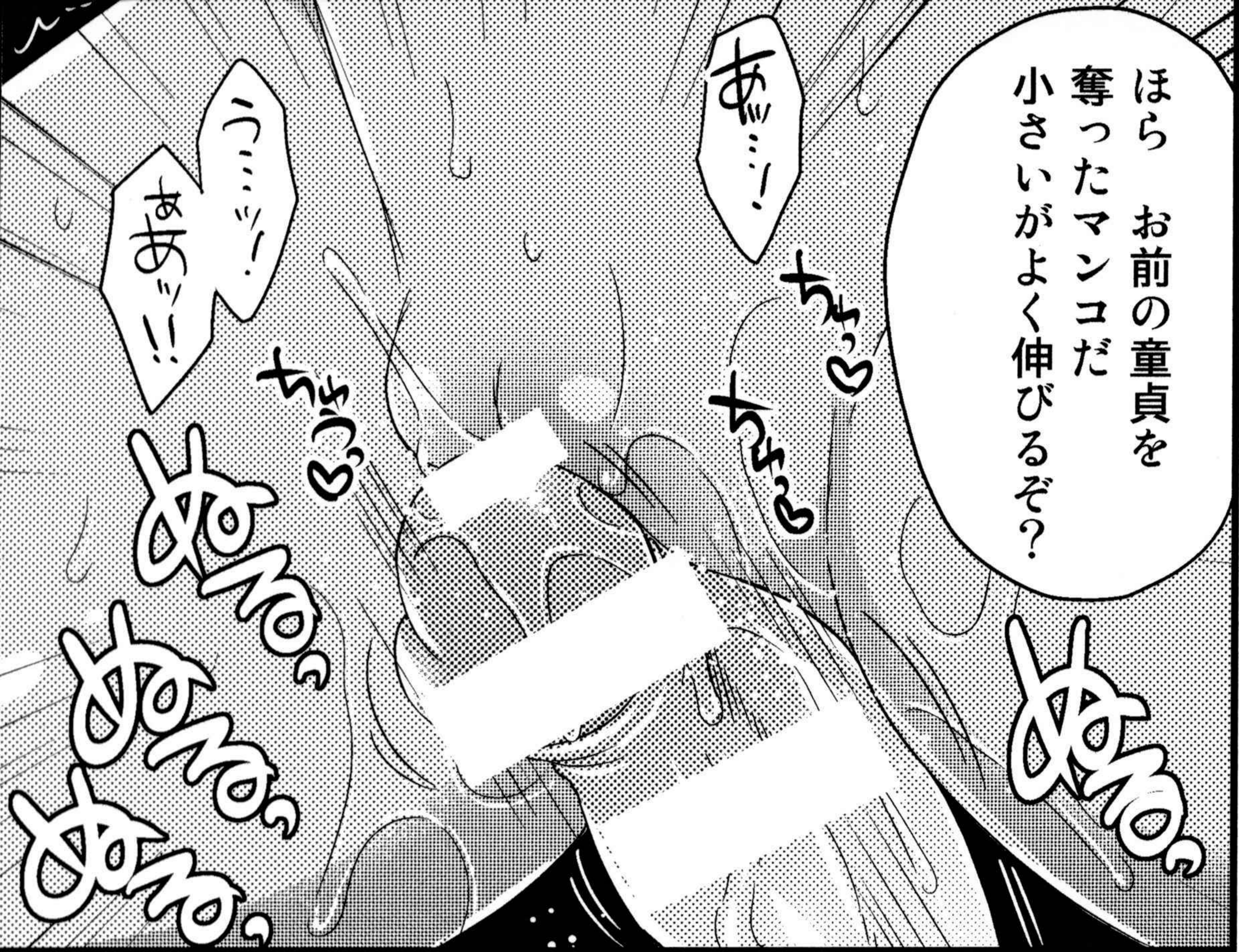
舌の使い方が…  
また一段と上手く  
なったのではないかな…♡

女性器の扱いにも  
慣れてきているな  
女で練習でもしたか…?

ネ…ネメシスと  
だけだよ!  
こういうこと  
するのは…!!

ほう…するとお前の  
知っている女性器は  
私のここだけなのだ





ほら お前の童貞を奪ったマンコだ小さいがよく伸びるぞ？



フフツ 悪くないぞ下僕 お前が知っているマンコの感触が私だけというのは

相変わらずお前はカウパーが多いな♡戻った皮もついでに剥いておいてやろう

えっ...？ わっ...わわっ!!



今日はちよっと...私も興奮しているからな...簡単に...んんっ♡

ああ...♡この最初の挿入でチンポに広げられる感触...最高だ...♡



どう...だ...？ お前が唯一知るマンコの感触は...♡気持ちいいか...？

ネメシスの膣内... いつもよりねじりこいて温かい...!!





はっ…♥…♥…♥  
相変わらさずっ  
お前のモノは  
なかなか  
凶悪だな…っ♥

気を抜けば…  
私も即座に  
イッてしまい  
そうだ…っ♥♥

フフ…♥ お前とは  
いろいろ試したが…  
やはりこの体位が  
一番好きだな…♥

チンポが  
奥まで入ったのが  
実感できるし…

何より お前の  
可愛いイキ顔が上がる  
じゅっけり見られる…♥

ま…待ってっ  
そんな動かないで  
ネメシス…っ!

オレ…ずっと  
溜めてたから  
もう…っ!!

確かに…時々  
チンポがふわっと  
太くなって  
いかにもイキそうだな

だがまだ射精は  
許可してないぞ?  
私がいいと言うまでは  
必死で耐えろ





ひっ♡ん♡  
太い…♡ お前が  
我慢すればするほど  
太くなっ♡…♡

私の臍内を  
ゴリゴリこする♡  
形が変わるくらい…  
マンコが広がうわ♡  
私が筆おろししてやった  
皮かむり気味の  
童貞千んポ…  
こんなこイイとほな♡



ネメシス…ツ!!  
ホントにダメだって  
もう出る…ツ!!

ダメだ許さん♡  
私が好きならもういっ  
我慢してみせろ♡

ひ…♡ん♡ 千んポの  
この反り返り♡  
私の弱点ばかり  
こまっ♡ん♡…♡

あ♡♡ あ♡♡ あ♡♡  
いい♡ん♡に当たります♡  
頭がおかしくなっ♡  
ダメだっ 私きまっ♡…♡

うあああッ!!  
髪の毛で締めて…っ!!

いい…♡ん♡ 許可する♡  
お前が溜めた精液全てを  
私の十力に注ぎ込め…♡



まだ♡千ノボが  
すけへるゝアアアア…♡

♡精子♡  
子宮口だわ♡

あ♡あ♡  
私も…っ

精子出てくさ…  
イ…ク…♡

うああっ 出る…っ  
ネメシス…ッ!!

おあおあおあ





ふぁ♡ん♡ん♡  
精子が腫に  
収まりきらない♡  
ドロドロと  
あふれ出てくるぞ…

こんなにも  
溜めていたのだな…  
お前は…♡

びしょ  
びしょ  
びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ



…ん？ なんだ  
快感が強すぎて  
気を失ったか

私のナカは  
それほどまでに  
良かったか…？  
フツッ♡

しかし…  
私の想いの在処を  
ずっと気にしている  
ようだが

あれだけして  
まだわからないのか…  
本当に察しの  
悪い下僕だ



お前には  
まだまだ調教の必要が  
ありそうだな♡